

# 考古資料館に行ってみよう

## 金箔瓦の謎

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

(財)京都市埋蔵文化財研究所・京都市考古資料館



上京中学校で発見した金箔瓦

**太郎** 今度の夏休みの自由研究、何にする？

**花子** このあいだ新聞に載ってた、上京中学校で見つかった「金箔瓦」にしようと思うけど、どうかしら。

**太郎** それ、いいんじゃない！ぼくもそれにしようっと。

**花子** 調子いいわねえ。とりあえず、京都市考古資料館に行って、話を聞いてみようよ。

(資料館に行き「歩く京都辞典」といわれるY先生に会う)

**花子・太郎** こんにちは、Y先生。「金箔瓦」について調べてるんですが、いったいどんな物なんですか？

**Y先生** 金箔瓦というのは、普

通の瓦に金箔を貼り付けた、きらびやかな屋根瓦のことで、桃山時代を象徴する瓦なんだよ。

今から400年ほど前、織田信長が安土城を築造した頃から、豊臣秀吉が大坂城や伏見城を築いた頃までに作られていたんだ。

**花子** すごーい！それじゃあ、屋根全体が黄金色に輝いてたんですか？

**Y先生** ところが違うんだね。屋根の軒先に使う瓦や、鬼瓦・飾り瓦だけで、全部の瓦に金箔を貼ったわけではないんだよ。ようするに、屋根の強調したいところを、金色で縁取りしたような感じだったんだ。時代は違うけれども、平安時代の、緑色の釉薬をかけた緑

釉瓦の使い方と似てるね。

**太郎** なーんだ、たいしたことないじゃん！

**Y先生** そんなことはないよ。たとえ部分的だとしても、キラキラ輝く瓦には、当時の人々は、びっくりしたと思うよ。布教のために日本に来ていたポルトガル人の宣教師も、「瓦の大きさはポルトガルと同じくらいだが、製作が巧みで、外から見るとバラや他の花に金を塗ったようだ」と、金箔



瓦の美しさを伝えているんだ。

〔資料館2階の金箔瓦を展示してあるケースの前で〕

**花子** 金箔瓦って、どうやって作るんですか？

**Y先生** まず、瓦をよく見てみよう。金色のところは、文様とまわりの上面だけだろう。つまり、金箔を貼りたい部分だけに、接着剤として漆を塗り、金箔を貼り付けているんだよ。屋根に葺いた時にかくれる所には、金箔がもっていないんで、貼ってないんだ。

こうした作業がどこで行なわれたか、わかってないんだ。いずれにしても、異なる職業の人たちの共同作業といったところかな。

**太郎** 金箔瓦って、京都のどこで見ついているんですか？

**Y先生** 下の図を見てごらん。京都の町の中では、豊臣秀吉が造った聚楽第<sup>じゅらくだい</sup>のあたり。それと、聚楽第と当時の御所の間の一帯なんだね。上京中学校もこの一帯に含

まれるんだ。これまでの4回の発掘調査で、大きな堀の中から800点余りの金箔瓦がざくざく出てるんだよ。近所でも、新町小学校の650点を始めとして、アルティ・平安会館・京都府庁などでも、たくさん見つかっているね。

発見された範囲は、おおむね一条通・烏丸通・榎町通・堀川通に囲まれていて、特に中立売通の両側と府庁周辺に集中しているね。このことから、この地域には金箔瓦を使うことができる有力大名屋敷が造られたことがわかったんだ。

**花子** そうなんだあ！金箔瓦についている家紋で、屋敷の家主がわかるんですか？

**Y先生** ところが、そんなに簡単には、わからないんだね。

同じ家紋の瓦が数箇所出土したり、この地域に屋敷を造ることができるとは考えられない小大名の家紋の瓦が見つかったりで、謎が多いんだよ。

**太郎** ところで、何のために金箔瓦を葺くんですか？

**Y先生** いい質問だね、ちょっと困るけど。ま、大名の中でも権力を持っていることを周りに知らせる、といったところなんじゃないかな。

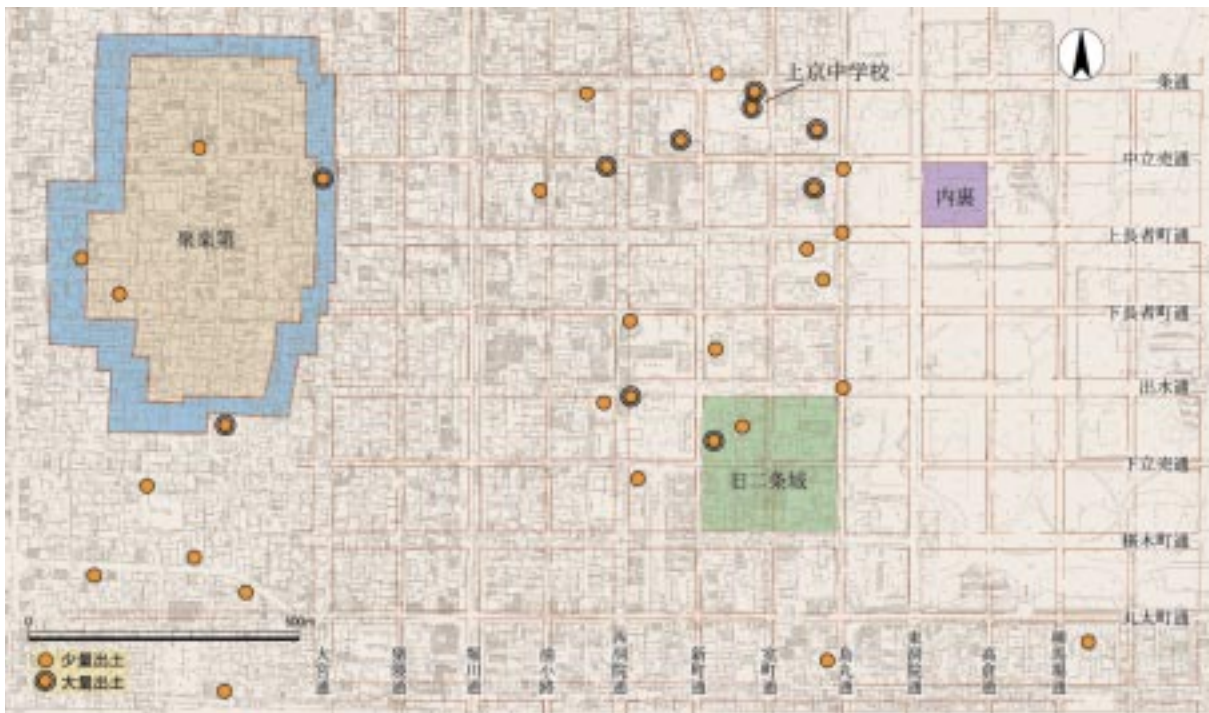
**太郎** 今でも、高級住宅なんかは門や塀を立派に造るのと同じなのかなあ？

**Y先生** うーん、そんなところかな。見えないところは塀が無かったりするの、今も昔もかわらんな。〔笑〕

リーフレット京都の139号でも伏見城の金箔瓦についてくわしく書かれているから、それも参考にするといいよ。

**花子・太郎** ありがとうございます！m(\_ \_)m 忘れないうちに、急いでレポートを仕上げよう。これで自由研究も決まり！

〔2人、喜んで資料館をあとにする〕 (上村 和直)



金箔瓦が見つかった場所